

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 原 真理

編集者 樂 満 春 子

印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

「そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒言行録2章46-47節



「主が一つにされたのである」

室園教会 牧師 西川 晶子

(第19期教区女性会担当牧師)

先月、ご高齢とご病気で長期入院中の姉妹のお見舞いに、完成した「いいいのみぎわ」を持参した折、とても気に入ってくださったので、一冊持つておいていただくことにしました。そして先日、イースターのお祝いを持つて再び訪問したときのことです。

「先日いただいてから病室の壁にかけて毎日めくっています。それを声に出して読んでいると、神さまから元気をいただけるんです。」

長期入院によって、ふさぎこんでおられるときも少なくないその姉妹がとても明るく話してくださいました、それだけでも嬉しかったのですが、続きがありました。

「私がそうやって読んでいると、同室の人たちが『楽しそうね、なんぼし

よつとですか』とのぞき込んでいかれるんです。」「なんか難しそうな勉強ばしよるね」と言われるけど『いいえ、元気になる神さまの言葉なんです』とお答えするんですよ」と、本当に嬉しそうに話してくださいました。今年度の教区女性会の主題聖句、使徒言行録2章46〜47節をすぐに思い浮かべました。

使徒言行録は、イエス様が天へと上げられた後の弟子たちの宣教について語ります。そこでイエス様の姿はもう人の目には見えません。にもかかわらず、ここでの主語は「主」です。激しい迫害の時代の中で、喜びと真心をもって集まる弟子たちを通して、他ならぬ主が働かれたのだし、同じ主が今の私たちを通して働いて下さる、そう聖書は語るのです。

お知らせ

九州教区女性会修養会

講師:北村 恵子氏

2015年10月12日(月・祝)

時間:午前10時半～午後3時半

会場:日本福音ルーテル熊本教会

お問い合わせ:(096)352-1772

「いいいのみぎわ」によってこの姉妹に平安と笑顔とが与えられ、周りの方々との間に新しい関係が造られた。神さまのみことばの働きを、目の当たりにできたことを心から感謝します。この同じ神さまが、新しく任命された役員の方々を中心とする教区女性会と、属するおひとりおひとりを通して、必ず働いてくださると信じます。神さまが私たちを通して行ってくださいることを楽しみに、どうぞこれから、よろしくお願いいたします。

九州教区女性会 第19期役員

(2015年3月～2018年2月)



会長 原 真理
(久留米教会)

誰よりも小さな私が、ここにおります。神様、どうかお助け下さい。

そう祈って働きが始まりました。できることはそう多くはありません。

皆様のお祈りとご意見が必要です。たくさんのお声を

聴かせていただきたく
願っております。

精一杯努めてまいります。

ご指導をよろしくお願いいたします。



副会長・書記 俵 恭子
(室園教会)

9年前に続き2度目になります。

教区女性会の年齢層も9歳スライド

して教会、家庭、社会の状況も大き

く変化しています。

でも時代が変わっても変わらない

主の福音があるから大丈夫です。



連盟担当 杉本 範子
(熊本教会)

子ども達が育ち、「さあ自分のこと

をしよう」という私に、神様は「今少

しお働きなさい」と教区女性会のお

役を課しました。逃げようとする私

を捉まえて放さない主のご意志には

逆らえません。これからの3年、よ

ろしくお願いいたします。



会計 佐藤 富美子
(室園教会)

のんびり屋で食べる事以外は

すべてにスローな私です。

主のお支えと皆様のご協力を

信じて、一つずつ務めて行きたい

と思ってるトラ年生まれの猫大好

き人間です。

どうぞよろしく願います。



文書 樂満 春子
(甘木教会)

役員会では、諸教会の女性会の

方のお話を聞いたり、共に讃美歌

を歌うことで、エネルギーをいた

だいています。九州教区の女性会

の活動をお伝えし、それぞれの女

性会を祈りあう会報「みちしるべ」

となるよう努力します。

よろしく願います。

日本福音ルーテル教会女性会連盟

第23回連盟総・大会

国立オリンピック記念青少年総合センター

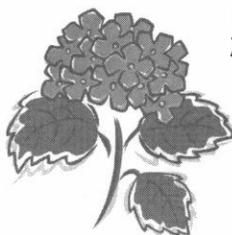
6月2日(火)から4日(木)まで3日間にわたって開かれた連盟総大会には、全国の女性会員や教職者、延べ三四一名が参加。3年間の活動報告や新役員選出などが行われました。九州教区からは五六名が参加しました。

主とともに 連盟総・大会報告

原 真理

この素晴らしい経験をさせてくださった主に、心からの感謝と賛美をささげます。

まず、大会の大塚野百合先生による講演では、ヘンリ・ナーウエンの著作を通して、主が本当に私を愛しておられると確信をもって信じているか、主にも自分にも隠している心のドアがないか、主の愛を抜きにして正当な思いとして人を裁いていないか、とても大切なことを讚美歌のオリジナルの歌詞を通して教え、たくさんの笑いと力いっぱい、の賛美で心に深く刻み込んで



くださいました。

聖霊様が豊かに働かれた3日間を通して感じたのは、離れたところに住んでいても、違う考えや思いを持っていても、主にあつて私たちは一つであるという事でした。

同じ主を信じ、同じ聖霊様に導かれ、主の愛を受けてともに主のために働く同労者としてよき交わりを保ち、御国が地上にもなりますように祈りつつ前進していきたいと切に願います。御心になつた祈りは必ず聞かれることを感謝いたします。



讚美歌を通して知る
主イエスの愛と恵み。



小倉教会

芳賀 明子

全国の主に連なる姉妹方とお会いして、少人数の女性会の会員の私は力強さと希望とを頂き感謝です。

大塚先生の講演の中で、全員で *Jesus loves me!* と主の愛の深さを改めて感じながら歌う事が出来て感激しました。議案に対しては熱い討議がなされました。私は「次世代信仰継承支援」と「サバ神学生支援」が承認された事が特に嬉しく思います。アメリカやフィンランド等から長年支援を受けている私共も、やっと他国への支援を続けて行う事が出来るようになりました。今回の教区女性会からの交通費援助には大変感謝しております。



長崎教会

廣瀬 美由紀

何より嬉しかったのは、現在休会中の長崎教会女性会を多くの人が気にかけてくれていたこと知ったこと。そして他教会の皆様への祈りに支えられていると肌で感じたこと。総会で実感したのは教会ごとの事情や様々な考えがあること。それでもイエス様の十字架を共に仰ぎ見ていれば分裂はないということ。礼拝や講演を通して与えられたのは、主イエスの溢れるほどの愛と恵みへの感謝と喜び。懇親会や食事の交わりで与えられたのは、主イエスにあつてつながっていることの確信。「福音を輝かせましょう」という講師の言葉を胸に長崎教会での歩みを続けていきたい。



愛餐会には神学生の皆様も参加。
良い交わりの時となりました。

大江教会 椎葉 ちはる (中学1年)

今年の題は「…おかえり、いってらっしゃい…」でした。今年はずは礼拝での疑問を考えました。「なんだろうそくに火をつけるの?」「アーメンってなに?」などたくさんありました。その他にも「派遣の部」、「聖餐の部」、「開会の部」は何のためにやっているのか、などたくさん考えました。そして、1つ1つ意味があるんだとわかりました。中学生になりましたが、アコライトの奉仕もなるだけやり、これからも礼拝に出席したいと考えています。



神水教会 角本 洵 (中学3年)

この度、キャンプに送り出してくださり、心から感謝します。今回のキャンプのテーマは、礼拝、信仰生活についてでした。そこで、僕の信仰生活について証します。今から書くのは僕がキャンプでした証です。

4年生のころ、熊本に引っ越して来て色々なショックを受けました。今まで出会ったことのないタイプの慈愛園の子どもたち、学校で見た激しいいじめ。僕はやっていけるか心配でした。

色々な困難や悩みがある中、月日は流れ、6年生になったときです。僕はクラスのリーダー的存在でした。僕は自分が今までしてきた暴力や暴言で、他者を支配していました。(殴り、蹴り、土下座させ更に蹴る、暴言など。)強くなった気になり、6年生の2月まで続けていました。すると最後の1ヶ月、今まで僕がしてきた人々から仕返しされました。それは乱暴なものではなく、悪口やほんの小さな事でした。でもそれをされた時、なにも言い返せませんでした。と同時に、自分の弱さに気づき学校に行けなくなりました。

どん底の絶望の中、僕はふと、栄光教会のFEBCの礼拝のCDを聞いていました。その時、僕はただ、慰められました。口にできない祝福と恵みが与えられたのを身体で感じ、涙が止まりませんでした。自分は弱い。でもイエス様がいるから大丈夫、という確信が生まれました。立ち直れたのです。神様はこのような形で、いつも僕を導いてくださいます。これから何があらうとも、この絶対的な確信をいつも持ち続け、歩んで行きたいと思えます。

<九州教区中高生キャンプのお知らせ>

8月4日(火)～6日(木) / ルーテル阿蘇山荘
 テーマ:主の山に「おかえりなさい」!
 ～祈り・讚美・礼拝がいっぱい!～

箱崎教会牧師 和田 憲明

女性会の祈りやお支えにより、今年も無事に春の全国ティーンズキャンプ(通称:「春キャン」)から戻ってまいりました。

3月26～28日千葉市少年自然の家にて第22回目のキャンプが開催されました。テーマは「…おかえり、いってらっしゃい…」。礼拝について学ぶプログラムに、81名のティーンズ(うち九州教区から27名)と32名のスタッフ(教区から3名)が参加しました。

6月初めに、春キャンの映像を手掛けるスタッフが、7、8分にまとめた「春キャン紹介DVD」を各教会へ配送しています。お時間を取らねから一度観ていただき、さらにご活用くださって、これからも教区の中高生キャンプや「春キャン」に子どもたちを送り出していただければ幸いです。

(全国の機関紙「るうてる6月号」に感想文と証しの一部が掲載されていますのでご覧ください)



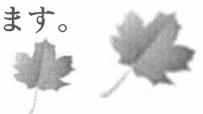
第22回春の全国ティーンズキャンプ

2015年3月26～28日

千葉市少年自然の家

大江教会 広瀬 和登 (高校2年)

両親が長崎教会(その前は宮崎教会)の会員で、小さいときから教会学校に通っていました。けれど礼拝のいろんな意味について詳しくは知りませんでした。今回、全国の仲間との学びの時を通して、礼拝の意味等が漠然と理解できたことは収穫でした。今度のペンテコステのとき、洗礼を受けるつもりで準備を進めています。「なぜ九学に?」と聞かれますが、九学を選んだ意味が見つかるかもしれません。この学校に来て教会にもよく通うようになりました。この機会をとらえて、神様のことをもっと知りたいと思えます。



九州教区シルバープロジェクト

九州教区女性会がシルバープロジェクトのひとつとして制作した冊子「いこいのみぎわ」。その後の窓口として、第1回役員会後「いこいのみぎわ」部を作り、前シルバープロジェクト委員の3名に委員を委嘱、受理されました。教区役員からはシルバープロジェクト担当として、杉本姉が参加します。

今後、調査アンケートの集計作業や「讚美歌CD」の販売等を担当していただきます。

河野久美子姉・里村朝子姉・谷口美樹姉、よろしくお願いたします。



いこいのみぎわ部

私たちはシルバープロジェクトの実現として今年「いこいのみぎわ」と題して冊子を製作し、各会に人数割りで配布しました。その結果さらに数冊欲しいという声がありましたので、増刷することを考えています。

私たちは年老いても、足腰が不自由になっても主イエスと教会に繋がってほしいという願望があります。そのお手伝いをするものとして「いこいのみぎわ」をおおいに活用しましょう。

すでに小さな集まりや、病院・施設訪問など、そしてご家庭などでも使用していただいているものと思います。

今回別紙にて送付したアンケートを基に、ご要望に応じていきたいと考えています。



(室園教会 河野久美子)

大江教会 教会カフェ de セミナー



教会に「安心村」を

大江教会 岩崎良子

5月9日(土)から11日(月)まで、大江教会と姉妹教会であるアメリカ福音ルーテル復活教会の日本語部代表Liang 美美姉が公式訪問。10日15時から健軍教会に於いて地区宣公開講演会「教会にシニアの村をつくろう」と言う表題で講演なさる事を知りました。九州教区女性会シルバープロジェクト委員会から美しい冊子「いこいのみぎわ」を頂き有効な使い方、教会に来られなくなった方々の為にどの様な関わりを持ち、教会といつまでも繋がって頂ける方法はないかと模索している時でした。

是非、大江教会でもお話をして頂きたいとお願いしました。9日(土)19時から大江教会のカフェ!de「教会カフェ de セミナー・教会に『安心村』を!」の表題でお話をして頂く事になりました。大江教会だけでは勿体ないので、熊本地区女性会会長会の折にお誘いをいたしました。アメリカと日本、立地条件が異なります。伺ったことがそのまま通用するわけではありませんが、二人の女性がはじめたシニア・シルバー自立プログラムです。お話の中から、模索している問題への糸口・ヒントを得ることができ、感謝いたします。



私も参加しました

一人の女性の発案から、しだいに仲間作りができ組織的活動になり、チームワークのための研鑽を積み、わずか3年の間にさまざまなプログラムを展開されており、驚きました。仕事を持つ女性たちはネットワークを生かし、同じ目的のために励まれる様子は、問題を解決し、喜びを分かち合うすばらしい交わりとなっていることに感動しました。教会にある可能性を引き出し、あつたらしいね、こうしたらしいねということを実現する能力を女性は持っていることを、数々の具体的な事例で話され、大いに励まされました。

九州教区女性会2014年度決算・2015年度予算

科 目	2014 年			2015 年 予 算	
	予 算	決 算			
収 入	1 教区会費	388,800	364,800	1,200×304 名 364,800	
	2 みちしるべ購読	24,200	23,800	200×119 部 23,800	
	3 感謝献金	160,000	213,950	20 教会 1 地区, 4 個人 170,000	
	4 席上献金	50,000	69,500	会長会 2 回 50,000	
	5 シルバープロジェクト献金	50,000	138,500	10 教会, 1 個人 0	
	6 預金利子		66		
	7 雑収入				
	8 前年度繰越金	249,980	249,980		200,361
合計	922,980	1,060,596		808,961	
支 出	9 役員会費	120,000	60,595		120,000
	10 会長、役員活動費	100,000	103,400		100,000
	11 通信費	25,000	23,326		30,000
	12 事務消耗費	30,000	29,411		30,000
	13 みちしるべ印刷、発行	100,000	96,265	95号、96号	130,000
	14 集会費	130,000	85,850	会長会補助	80,000
	15 慶弔費	30,000	3,388	弔電、お見舞い	20,000
	16 支援費	200,000	200,000	ティーンズキャンプ・中高生キャンプ こどもキャンプ・青年修養会 160,000	
	17 指定献金	50,000	69,500	希望の家・若枝奨学会・ 広島土砂災害 50,000	
	18 シルバープロジェクト指定	50,000	138,500		0
	19 連盟総会積立	50,000	50,000		30,000
	20 予備費	37,980			58,961
	21 次年度繰越	0	200,361		0
合計	922,980	1,060,596		808,961	

主な活動報告

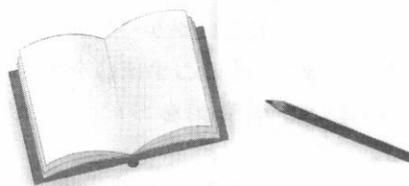
- ・常議員会陪席
3/3 室園教会
4/21 教区事務所
6/16 久留米教会
- ・新旧役員引き継ぎ及び
第1回役員会
3/14 久留米教会
- ・春の全国ティーンズ
キャンプ支援（4万円）
3/26～28
千葉市少年自然の家
- ・会計文書発送作業
4/17 室園教会
- ・第23回連盟総・大会
6/2～4
国立オリンピック記念
青少年総合センター
- ・第2回役員会
6/20 室園教会
- ・第97号「みちしるべ」
発送作業
7/15 久留米教会

第19回九州教区女性会総会決算報告書 2015年2月28日 於 箱崎ルーテル教会

科 目	金 額	備 考
収 入	参加会費	71,000 1,000円×71名
	プール制負担金	42,000 2,000円×21教会
	席上献金	73,600 開会礼拝にて
集会費より補助	19,166	
合計	205,766	
支 出	謝礼	11,000 牧師2名、奏楽者、献花、他
	会場費	3,000
	献金	73,600 女性会連盟へ
	交通費支給	65,650 18教会
	昼食	41,324 お弁当、汁もの他
	事務通信費	9,442 総会報告書、紙代、送料
役員交通費	1,750	
合計	205,766	

＜拡大会長会のお知らせ＞

日 時：9月12日（土）
時 間：午前11時～午後2時
会 場：室園教会（熊本市）
内 容：連盟総大会の報告と
修養会の計画について



会場で秋山牧師がアピールされた希望の家への募金が
22,000円あり、お渡ししました。感謝してご報告致します。
ご協力ありがとうございました。

18期会長 岩切昞世 会計 山本裕子

◆編集後記◆

何とか「みちしるべ」97号を
発行できていたことを感謝し
ます。突然の原稿依頼にも関
わらず快く受けて下さった皆
様、ありがとうございます。
98号もお祈り下さい。

（樂満）

ご召天

斎藤 悦子 姉 満100歳 室園教会 2015年3月28日
西村 イヨ 姉 88歳 室園教会 2015年4月3日
大坪 玲子 姉 81歳 大分教会 2015年4月16日

神さまのみもとでの
平安をお祈りいたします。

